

接続期プログラム（後期）

月		入学式～4月下旬	～5月中旬	～7月	
期		新しい環境に慣れる時期		学習に意欲的に取り組んでいく時期	これまでの経験を生かし、安心して学校生活を送っていく時期
育てたい力	生活する力	・新しい環境での生活の仕方を知り、自分なりに取り組む	・1日の生活の見通しをもち、身の回りの整理整頓をする	・学校生活に慣れ、安心して生活する	
	関わる力	・クラスの友達のことを知り、興味や関心をもつ ・担任に親しみをもつ	・自分以外の人の考えを受け入れたり参考にしたりする ・関わりのある教師に親しみをもつ	・クラスの友達と思いを伝え合いながら生活する	
	学びに向かう力	・新しい環境での生活に期待感をもち、楽しむ	・学習内容に興味をもち、意欲的に取り組む	・学習内容が身につについていく楽しさを感じ、意欲的に学ぶ	
ねらい	・小学校の生活環境に慣れる ・担任やクラスの友達を知り、親しみをもつ ・学習活動に興味や関心をもつ	・生活の見通しをもって行動する ・身近な友達と関わりながら、人間関係を広げていく ・学習活動に楽しさを感じ、意欲をもって取り組む	・自分で判断して行動する ・友達と思いや考えを伝え合う ・学習活動を通して、分かるようになることに喜びを感じる		
内容	・教室や保健室、トイレ等の場所、自分の使用するものの位置や使い方を 知る ・安全な歩き方やバスマナーなどを知り、登下校の仕方を知る ・自分で身の回りの整理や整頓をする ・担任やクラスの友達の顔と名前を知り、話しかけたりする ・教師の話に関心をもって聞く	・1日の生活の流れを理解し、見通しをもって生活する ・音楽室や体育館などへの移動の仕方を知る ・クラスに気の合う友達ができたり、新しい友達をつくったりする ・自分の思いを自分の言葉で相手に伝える ・当番や係活動に取り組む ・分からないことや困ったことを教師や友達に尋ねる	・1日の見通しをもち、安心して生活する ・授業時間と休み時間の区別をつけて行動する ・分かったりできるようになったりする喜びを感じ、自信をもって何 事にも取り組む ・友達と同じ目的をもち協力して活動する ・いざごになった時に、教師と一緒に友達と話し合う		
環境の構成のポイント	○新しい環境で安心して生活することができるよう、1日の過ごし方が 日によって変わらないようにし、生活のリズムを掴みやすくする ○幼児期の生活から徐々に小学校生活に移行していくことができるよ う、時間の使い方を工夫する（コミュニケーション活動の時間、生活 科を中心とした合科的時間、教科等の時間等） ○指示を出したり黒板を見て考えさせたりする時には、文字の理解の個 人差に配慮し、視覚教材も使用する	○時間割通りの生活へと徐々に移行していくことができるよう、教科等 の時間を増やしていくなど、時間の使い方を変えていく ○人間関係を広げていく機会となるよう、隣同士やグループなどで児童 同士がかかわりをもつことができるような活動を設定する ○今までの経験を生かして取り組むことができるよう、児童の実態に応 じた当番や係活動を設定する ○学習内容に興味をもつことができるよう、児童の生活経験から学習内 容を構成する	○入学当初と比べ自分の成長を確認できるよう、1学期の生活を振り 返る機会を設ける ○自分の思いを相手に伝えたり、友達の意見を知ったりできるよう、 自己表現の場を増やしていく ○自分の作業に集中したり、友達と協力して活動に取り組んだりする ことができるよう、授業内容に応じて机や教室の使い方を変える		
	○安心して生活することができるよう、床に座って集まる機会を設ける				
	○1日の予定や自分のすべきことが見て分かるよう、文字を少なくして絵や記号を使ったり、掲示物を少なくして見やすい環境をつくったりする				
教師の援助のポイント	◎担任やクラスの友達の名前や顔を覚えて自らかかわることができる よう、名前を呼ぶ機会を多く設ける ◎児童の様子を把握し、不安や心配から安心して自分の思いを相手に伝 えることができない児童には、教師が言葉を補ったり、思いを引き出 したりする	◎今までの経験を生かして当番や係活動に取り組むことができるよう、 どんなことをしてきたかを児童に尋ね把握する ◎学習活動に興味をもち楽しんで学ぶことができるよう、分かたりで きたりする実感をもつことができるような声かけを行う	◎いざごを児童が話し合い解決していくことができるよう、話し合 う機会を設け必要に応じて問題を整理したり焦点化したりする		
	◎安心して教師とかかわることができるよう、児童と個別に関わる時は姿勢を低くし、視線を合わせて話す ◎指示を理解し自ら行動することができるよう、口頭で指示を出す時は短く分かりやすくする				
家庭との連携	・学年便りなどで生活の様子や学習活動の様子を伝えることに加え、連絡帳を活用して児童の様子を保護者と伝え合う				